



県政報告 県政を身近に

平成30年
2018
夏季号

Vol.28

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ご挨拶〉

平成30年6月定例県議会が7月6日に終了しました。今回の県議会では、補正予算議案はなく、彩の国功労賞の贈呈について議会に諮る初めての議案が提案され、承認されました。私は、本議会で一般質問をする機会を得ましたので、本号でその内容を紹介させていただきます。

私は、本年度は2期目仕上げの年として、政策づくりと地域が輝く県づくりに一層努力を傾注してまいります。皆様のご意見、要望をお寄せください。

質問項目

- 1 県立高校の改革について
 - (1) 県立高校の再編整備について
 - (2) 県立高校の通学区域制の復活について
- 2 八高線にSLを走らせよう
～沿線地域の観光エリア指定について～
- 3 少子化対策について
 - (1) 県民の希望を実現するために
 - (2) 効果的な住宅補助について
- 4 所有者不明の土地問題について
- 5 県の「内部統制」の取組について
- 6 旧毛呂山高校跡地の活用について
- 7 新川越越生線の整備について
- 8 観光地へのアクセス道路の安全対策について

*すべての質問・答弁の内容は、県議会ホームページ「平成30年6月定例会」→「一般質問 質疑質問 答弁全文」をご覧ください。

3 少子化対策について

(1) 県民の希望を実現するために

【武内】子育て支援事業が、どの程度少子化の歯止め効果があると把握しているのか。また、子育て支援中心から結婚、出産の支援に政策の力点を移すべきでは。

【福祉部長】今年度は日本社会事業大学などと連携して、人口動態や就業、住宅などの社会環境要因が出生動向に及ぼす影響や、これまでの少子化対策の効果分析したい。また、出産支援として、平成29年度から「ウェルカムベイビープロジェクト」を立ち上げ、総合的な支援を進めている。結婚支援については、平成30年度に出会いサポートセンター事業を立ち上げる。

6 旧毛呂山高校跡地の活用について

【武内】すでに廃止されてから10年以上が経過している旧毛呂山高校跡地については、売

平成30年6月定例県議会 (平成30年6月18日～7月6日)

武内県議 一般質問に登壇

県立高校の再編整備をはじめ、八高線の観光エリア指定などの地元課題や少子化対策など幅広い分野の質問を行いました。毛呂山町、鳩山町、越生町から多くの傍聴者が参加しました。



主な質問と答弁

1 県立高校の改革について

(1) 県立高校の再編整備について

【武内】単に入学志願倍率が低いことなどを減らすだけでなく、場所的なバランスを考量するとともに、地域政策の観点から知事部局の意見を取り入れて検討する必要があると思うが、教育局の考えは。

【教育長】高校の現状や地域バランスにも十分配慮して検討していきたい。また、広域的な地域振興を担当する知事部局とも意見交換を行った上で、平成31年度をめどに県民コメントを実施し「実施方針」を策定したい。

2 八高線にSLを走らせよう

【武内】八高線沿線を本県の新たな観光エリアに県が指定し、様々な支援をすることについて県の考えは。

【産業労働部長】八高線沿線は、自然や観光資源に恵まれており、特に平成31年3月にムーミンのテーマパーク「メッツア」がオープンし、千載一遇のチャンスである。13の沿線自治体をまとめるためには県の役割が重要。まずは沿線自治体との意見交換の場を設け、機運を盛り上げたい。そのうえで、課題の把握と必要な支援を検討したい。

却の方向で検討していると伺っているが、その方針と今後のスケジュールは。

【教育長】県では、町の利活用が見込めない未利用財産として、地元と調整して売却条件の検討を進め、条件が整った段階で売却を行う。できる限り早期に地元の理解を得られるよう努力したい。



旧毛呂山高校跡地の現況(平成30年7月13日撮影)



▲質問中の武内県議



▲転車台上のSL大樹(鬼怒川温泉駅にて)

8 観光地へのアクセス道路の安全対策について

【武内】県立黒山自然公園内の黒山三滝入り口手前の県道が、車のすれ違いのできない危険箇所がある。県の考えと今後の見通しは。

【県土整備部長】安全で円滑な交通を確保するため、未改良区間の整備が必要である。まずは、どのような線形の整備ができるのか検討し、町と共に事業実施に向けた調整を進める。



県道越生長沢線のあい路部分